



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 2009年度 事業計画

■はじめに

国際的な金融不安が広がるなか、日本においても景気の低迷はいよいよ深刻なものとなり、人々の生活と心に大きな不安の影を落としている。新たに顕在化してきた社会問題やニーズも少なくない。そして、こうした状況へ対応する市民活動への期待はますます高まっている。NPOや市民活動の存在に対する認知が社会的に進むなか、一方では依然として官民間わず財源抑制をねらった「市民参加」や「協働」が見受けられるのも現実である。

このような状況の中、これまで本協会では2006～2008年度の3カ年にわたる「中期ビジョン」に基づく取り組みとして下記の3点を挙げ、活動を進めてきた。

- ①ボランティアコーディネーターの専門性認定の仕組みづくり
- ②あらゆる組織・場面におけるボランティアコーディネーションの質の向上
- ③基本指針を軸としたボランティアコーディネーションについての理解促進

2007年度には、ボランティアコーディネーター専門性研究委員会において、ボランティアコーディネーターの社会的認知や専門職としての確立のための「専門性認定のためのしくみづくり」に関して「ボランティアコーディネーション力検定」と「JVCA認定ボランティアコーディネーター」の2つの制度が検討され提案された。また、2008年度には多様な分野とのつながりの強化に努め、JVCAとしてのミッションの確認と今後のビジョンを共有するための組織内コミュニケーション強化の場づくりも図ってきた。

■積年の思いを果たす重要なチャレンジの年 ～2009年度事業計画のポイント

2009年度は、この中期ビジョンに基づく一連の取り組みの評価を経て、いよいよ具体的な事業を展開する年となる。そして、JVCAとしてはそのミッションである「ボランティアコーディネーターの専門性と社会的認知の向上」に関する積年の思いを具体的な事業として立ち上げ、社会に広く発信していくために重要なチャレンジの年になる。

このうち本年度は「ボランティアコーディネーション力検定」の3級をスタートさせる。これはJVCAの2009年度最大の事業となる。さらに「ボランティアコーディネーター基本指針」を多角的に活用して、ボランティアコーディネーションについての理解促進を進める。基本指針を活かしたさまざまなツールやプログラムを開発し、検定・認定のしくみと連動させながら“ボランティアコーディネーションの理解・普及”を図っていきたい。

また、2008年度で中期ビジョンの期間が終了したことに伴い、次の新しい中期ビジョンの策定にも着手する。JVCAの認知度を向上させていくためにも、次なるゴールを明確にしつつ、ミッション実現に向けたこれからのあり方を大いに議論していきたい。

そして、会員本位の視点に立脚した具体的な事業を形にするためのさらなる検討を進めつつ、事業展開と組織運営の推進体制の整備・充実に取り組む。これらの状況をふまえ、2009年度はJVCAが事業の柱としている4つの重点とそれを支える推進体制づくりの課題に沿って、以下の取り組みを中心に事業展開および組織運営を進めていくこととする。

1. 多様な領域で活動するボランティアコーディネーターのネットワークの確立

①メールリストなどを活用したボランティアならびにボランティアコーディネーションに関する情報ならびに意見交換の促進

⇒WEB媒体を活用したPRや情報提供を通じてボランティアコーディネーター間のコミュニケーションの場を提供する。

②CoCoサロンによる顔の見える会員ネットワークの強化

⇒多様に展開されるCoCoサロンの世話人同士が情報交流できる場を設け、サロン活動の今後の展開や活動充実のための検討をすすめる。

2. ボランティアコーディネーターの専門性の向上にむけた取り組み

①「ボランティアコーディネーション力3級検定」の開始

⇒現在ボランティアコーディネーターとしての任にある人のみならず、社会のあらゆる場面にボランティアコーディネーションの意義や機能を幅広く浸透させるために検定システムを導入し、2009年度は3級検定から実施する。

②「ボランティアコーディネーション力2級検定」の研修ならびに試験内容の確定

⇒ボランティアコーディネーション力2級検定を確立するために、研修内容を検討し、トライアル研修の実施結果をふまえて確定する。2級検定は2010年度より開始する。

③「ボランティアコーディネーション力1級検定」「JVCA認定ボランティアコーディネーターシステム」の検討

⇒2011年に開始予定の上記システムについて、その詳細を検討する。

3. ボランティアコーディネーターの専門職としての社会的認知度を高めるための取り組み

①「JVCA認定ボランティアコーディネーター」システムの開発

⇒職業としてボランティアコーディネーターの実践を行っている人材に対して、その実践力の向上をはかり、業務の成果を多角的に評価することを通じて、協会としての認定を行う「JVCA認定ボランティアコーディネーター」システム創設に向けて準備を進める。

4. ボランティアコーディネーションの普及

①「ボランティアコーディネーター基本指針」を活用した普及啓発の促進

⇒ブックレットをCoCoサロンや読書会、研修会で積極的に活用することを通して、ボランティアやボランティアコーディネーションについての理解をはかる。

②ホームページのコンテンツの再構築と内容の充実

⇒ホームページにボランティアコーディネーションの理解を進めるためのページをつくり、内容を充実する。

5. 事業推進体制の充実

上記の重点事業を実施するために運営および事務局体制を充実し、財源確保に努める。

①JVCA中期ビジョン2011－2013の策定への着手

⇒中期ビジョン2006－2008の評価をふまえて、2009－2010年の2年間をかけて、新中期ビジョンを策定する。2009年度は策定に向けての担当チームを編成する。

②事務局体制の増強

⇒・担当理事をおくことによって、引き続き、事務局運営のサポート、職員の雇用管理を行う。
・新規事業開始に伴い、担当スタッフを採用する。

③組織を継続的、安定的に運営していくための財源の開発

⇒ミッションに沿った趣旨の委託事業の受託や、調査研究および開発的な研修実施などに対して助成金を申請する。

■ 1 事業の推進

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

- ①「全国ボランティアコーディネーター研究集会2009」(横浜開催)の開催及び評価
2004年度から<基礎・入門編><研究・実践編>の2本立てで開催してきたが、2009
年度からは基礎・入門編を切り離し、実践経験の積み上げのあるボランティアコーディネ
ーターを対象とした研究協議の場に再編する。

テーマ:~TSUNAGU~超えるコーディネーションで社会を変える

期 日:2009年 2月28日(土)~3月1日(日)

会 場:福祉保健研修交流センターウィリング横浜

- ②「全国ボランティアコーディネーター研究集会2010」(福岡開催予定)の準備

(2) 研修の開催および研修企画の支援

- 新規** ①ボランティアコーディネーション力3級検定研修の開催 6回(関東、関西、共催団体)

- ②各種研修セミナーの開催

・実務者向け:ボランティアコーディネーター基礎研修 4回

(関東 2回、関西 1回、その他の地域 1回)

・実務者向け:ボランティアコーディネーター・ステップアップ研修 2回(関東、中部)

・ボランティアと向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座 3回

(関東、関西、その他の地域)

- ③講座等の企画支援と講師等の派遣・紹介

・地域活動等の場面でのボランティアコーディネーションの担い手にむけた研修メニュー
を開発する。

(3) 調査・研究活動の推進

- ①「ボランティアコーディネーション力検定」システム(2級・1級)の検討
テキスト、研修プログラム、試験問題を作成し、研修と検定のトライアル(試行)を行うこと
により2010年度に2級、2011年度に1級検定実施にむけて準備をする。

- ②「JVCA認定ボランティアコーディネーター」システムの開発

2011年度の本格実施にむけて研究、準備を行う。

- ③上記2つを実施するための「検定・認定システム化検討委員会」の継続

- 新規** ④「文化ボランティアコーディネーター活性化委員会」の設置・運営

平成 21 年度文化ボランティア支援拠点形成事業[文化庁委託事業]の申請を行う。

受託が決定した場合には、標記委員会を設置し、文化ボランティアコーディネーターの養
成プログラムを開発し、研修講座を企画する。

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

- ① メールマガジン(会員向け)の発行(月1回)

- ② JVCAリーフレットの改訂

- ③ ホームページの充実
- ④ ボランティアコーディネーションに関する情報収集
 - ・ボランティアコーディネーション関連の文献データベースのホームページ上での公開
- ⑤ 雑誌・新聞などへの寄稿 など
 - ・ボランティアコーディネーション力3級検定開始に合わせて、各分野の業界紙、広報紙などへの記事掲載を働きかける。

(5) 広報紙および出版物の発行

- ① ニュースレターの発行

『Co★Co★Net』の発行 年3回(発行月:4月、8月、12月)

- 新規** ② 『ボランティアコーディネーション力検定テキスト』(仮題)の編集

新規…

(6) ボランティアコーディネーション力検定の実施

- ① ボランティアコーディネーション力3級検定試験の実施 9回(関東3、関西3、福岡1 共催団体2)

- ② ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の設置

再掲: ③ ボランティアコーディネーション力3級検定研修の開催 7回(関東2、関西2、福岡1、共催団体2)

再掲: ④ 『ボランティアコーディネーション力検定テキスト』(仮題)の編集

- ⑤ ボランティアコーディネーション力3級検定の講師養成

- ⑥ ボランティアコーディネーション力2級検定のトライアル研修の実施

- ⑦ 検定・認定システム実行プラン 推進チームの設置

(7) 相談への対応

- ① 会員メーリングリストによる会員相互の相談助言活動を促進する。
- ② 頻度の高い問合せについて、ホームページに掲載する。

(8) ネットワーク推進事業

- ① CoCoサロンの開催・運営支援

会員サービスの一環としてCoCoサロン開催を支援し、会員相互の交流を深める。

- ・各地のCoCoサロンの活動状況を把握するために、「CoCoサロン調査」を実施し、その傾向を分析し、今後のあり方を検討する。
- ・「CoCoサロン世話人ランチミーティング」(仮称)の開催 (JVCC2009 の会場にて)

新規

②CoCoアカデミー(仮称)の開催

研修とCoCoサロンとの中間的な位置づけとして、研修やCoCoサロンの実施されていない地域に出向き、ミニ研修を開催する。

③国内外の関係団体との連携

- ・インターナショナルボランティアネットワークセミナー2009(ハワイ開催)の企画・参加
2009年8月19日～23日にハワイにおいて開催される、「インターナショナルボランティアネットワークセミナー2009」に企画協力し、参加する。
- ・ファシリテーションフォーラム2009(主催:日本ファシリテーション協会)への協力
2009年5月23日～24日に東京において開催される、「ファシリテーションフォーラム2009」に分科会の企画・運営者として協力する。

(9) アドボカシー活動の展開

①ボランティアコーディネーションの普及啓発

主催研修や講師派遣などで「ボランティアコーディネーター基本指針」を活用して、その普及啓発を行う。

新規

②「基本指針を読む会」(仮称)の開催促進

「基本指針を読む会」(仮称)のトライアルをもとに開催事例をまとめ、ブックレット『ボランティアコーディネーター基本指針』の付録として配布する。これにより、各地域、各職場などにおいて、ボランティアコーディネーターや関係スタッフ相互の意見交換の場＝「基本指針を読む会」(仮称)の開催を促進し、ボランティアやボランティアコーディネーションに対する考え方の普及につなげる。

新規

③ポスターキャラバンの実施

JVCAの社会的な認知を高めるために、ポスターキャラバンを実施し、団体の周知と「ボランティアコーディネーション力3級検定」実施などのPRを行う。

④社会情勢に応じたアドボカシー活動を展開する。

介護支援ボランティア制度の実施の動向を把握し、必要に応じて課題提起などを行う。

(10) ボランティアコーディネーターの実践を助けるツールの開発と活用

①リコグニションカードの活用

②ボランティアセンター自己診断の活用

③グッズアンドツールの紹介(ホームページを通じての公開)

■ 2 組織運営と財政強化

(1) 通常総会 2009年3月1日、横浜にて開催する。

(2) 理事会 3回開催(2月、7月、12月の予定)

(3) 委員会

①運営委員会 月1回、12回開催する。

開催予定地: 関東5回、関西4回、名古屋1回、福岡1回、合宿1回(関西)

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を推進する。

i) 広報普及委員会 …会員新規拡大、ホームページ充実、ボランティアコーディネーター基本指針の普及など、JVCAのPR活動全般

ii) 会員サービス委員会…会員継続支援、CoCoサロン開催支援、Co☆Co☆Net編集など、団体内部に向けた広報・支援

iii) 研修開発委員会 …専門委員会との協働

iv) JVCC企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会2009・2010の企画、今後のあり方検討

v) 財政委員会 …中期的な財政シミュレーションと具体的な財源強化対策

③専門委員会の設置、運営

i) 検定・認定システム化検討委員会(継続)

④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図る。

i) 研修実施プロジェクトチーム

ii) ホームページメンテナンス・タスクチーム

新規 ⑤中期ビジョン2011-2013策定チームの新設 ※2009-2010 2年間

(4) 会員拡大および会員サービスの充実

①会員拡大に関する取り組み

・多様な分野においてボランティアコーディネーターの社会的認知を広げ、JVCAの事業や運営への参加を拡大し、会員組織としての組織構成を強化する。

・ボランティアコーディネーション力3級検定合格者に入会を促す。

②会員サービスの見直しとサービスの拡充

会員のニーズを的確に把握し、会員がJVCAにコミットする機会拡大とJVCAをより身近な存在として感じられるサービスとして、CoCoサロンを主軸とした地域や分野における会員相互の意見・情報交換とボランティアコーディネーションの普及・啓発の場づくりを拡充する。

新規 ③会員継続支援サービスの充実

準会員から正会員への移行を促すような「会員継続支援サービス」を充実し、会員の定着と会費未納者を減らすための工夫を行なう。

(5) 事務局運営の充実

①事務局スタッフの強化

新規事業が増えるため、事業推進の有給スタッフを増強する。
WEB担当タスクチームを組織し、ホームページ等の管理を行う。

②事務局担当理事の設置(継続)

(6) 財源の確保と財政運営

①会費収入の拡大

会員特典(JVCC・研修・セミナー参加費割引など)を積極的に周知し会員の勧誘を図る。

②事業収益の拡大

③その他財源の拡大(助成金、委託事業など)